

中島海岸及び津谷川・外尾川の 災害復旧事業説明会

説明内容

- (1) 災害復旧事業の進捗状況について
- (2) 前回説明会における要望事項への対応について
- (3) 検討WGの設置について
- (4) 今後のスケジュールについて

(1) 災害復旧事業の進捗状況について

- 中島海岸及び津谷川・外尾川の災害復旧計画については、昨年11月の説明会で合意をいただいているところですが、皆様からいただいた様々な要望事項を検討しながら、事業に着手していきます。
- 現地の施工手順としては、津波で散乱した離岸堤や消波堤のブロックを先行し、波浪に対する安全度向上を図ることとしています。
- その後、堤防本体工事に着手し、L1津波に対する対策を実施することとしています。

(2) 前回説明会における要望事項への対応について

- 中島海岸及び津谷川の災害復旧計画については、平成24年7月より地元説明会を開催し、平成25年11月27日の説明会において合意をいただいたところです。

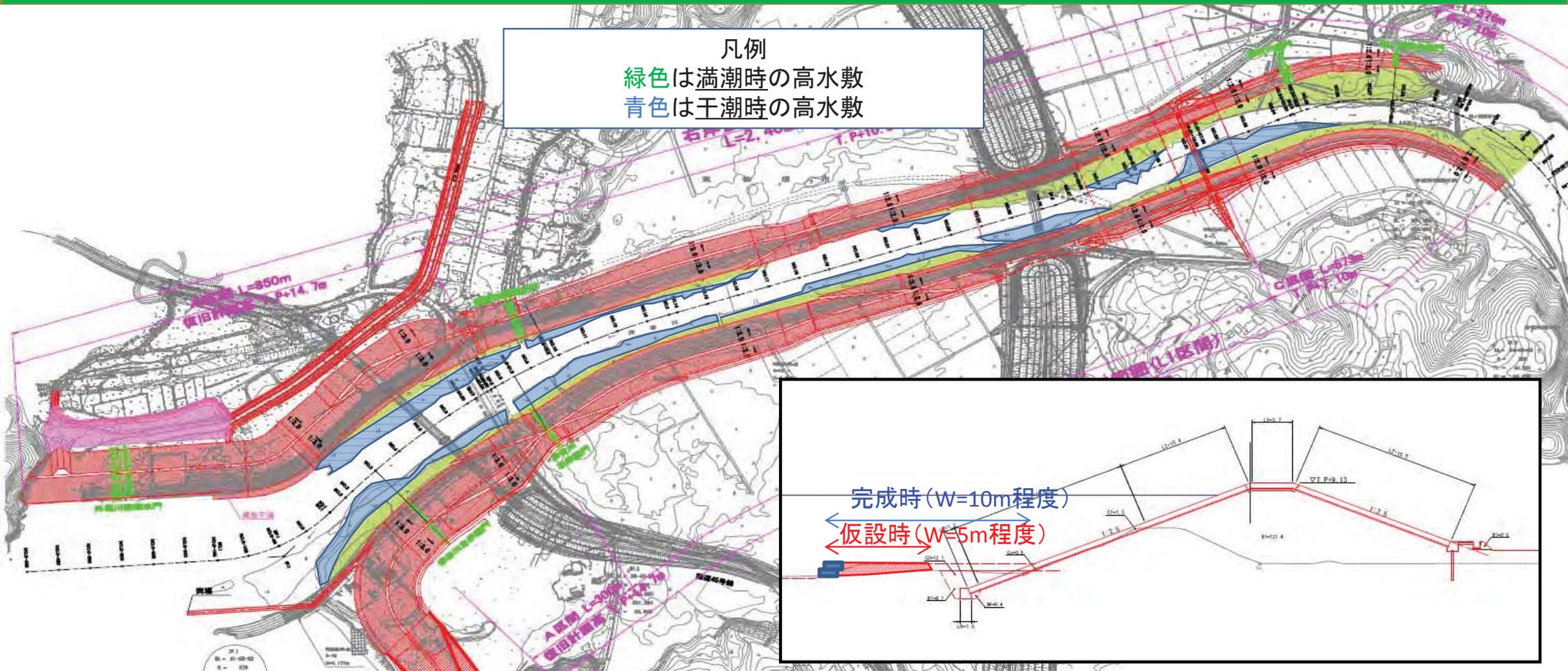
一方、当日の説明会においては、自然環境や景観、利用等に関して引き続き検討を行うよう要望がありました。

- 主な要望事項

- ① 高水敷整備について(満潮時の冠水軽減)
- ② 河口部の整備について(保安林の復旧、干潟の保全)
- ③ 海水浴場整備について(砂浜の再生、施設の復旧)
- ④ 保安林整備について(塩害防止、景観対策)
- ⑤ 排水対策について(冠水被害の防止)

これらの要望項目について、地元意見を取り入れ、より良いものを造る観点から住民代表者による検討WGを設置し、検討していきたい。

高水敷の整備について



- ◆ 地元の要望は高水敷の整備であるが、全ての範囲で従前の広さを確保するのは予算的に困難であり、どの範囲を行うか意見集約が必要
- ◆ 工事用道路として必要な範囲は最低限整備する予定だが、釣り場として利用する場合は、整備範囲の設定について、地元住民や利用者の意見聴取が必要
- 津谷川には希少種が存在するため、水中工事は最低限としたい。
- 護岸工法についても魚類等への配慮が必要であり、かごマット等で施工したい。

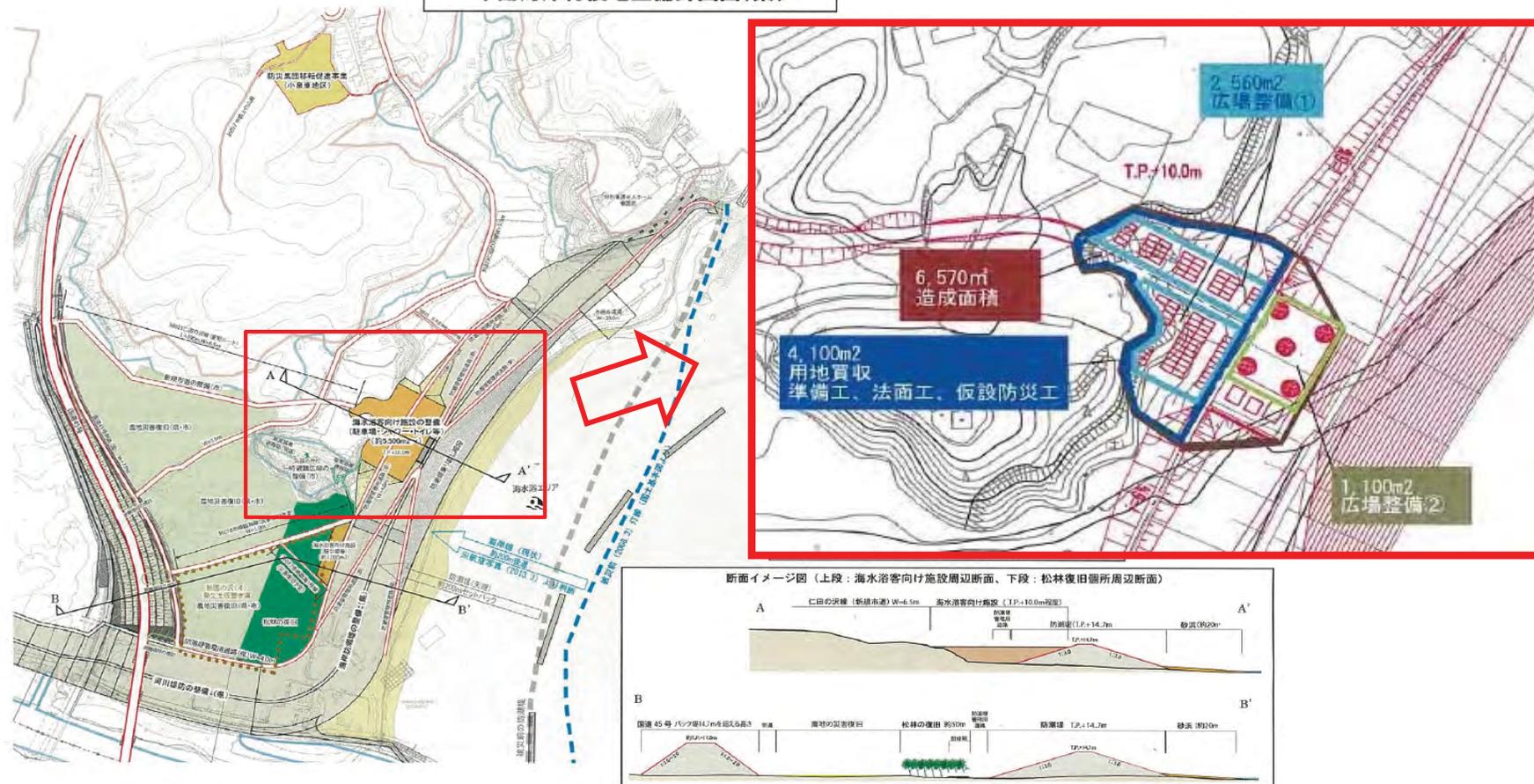
河口部の整備について

※ 津谷川河口部平面図

- ◆ 要望は震災干潟の保全であるが、被災前は「保安林」や「湿地」が存在。
- ◆ 地域の意見としては、「震災後に出来た干潟を残す」という声もあるが、「保安林も復旧すべき」との声もある。
- 県としては、環境・景観に配慮するとともに洪水時に防災機能を有する施設として整備したい。
- 整備内容や整備範囲について地元の意見を集約し、整備方針をとりまとめたい。

海水浴場施設整備について

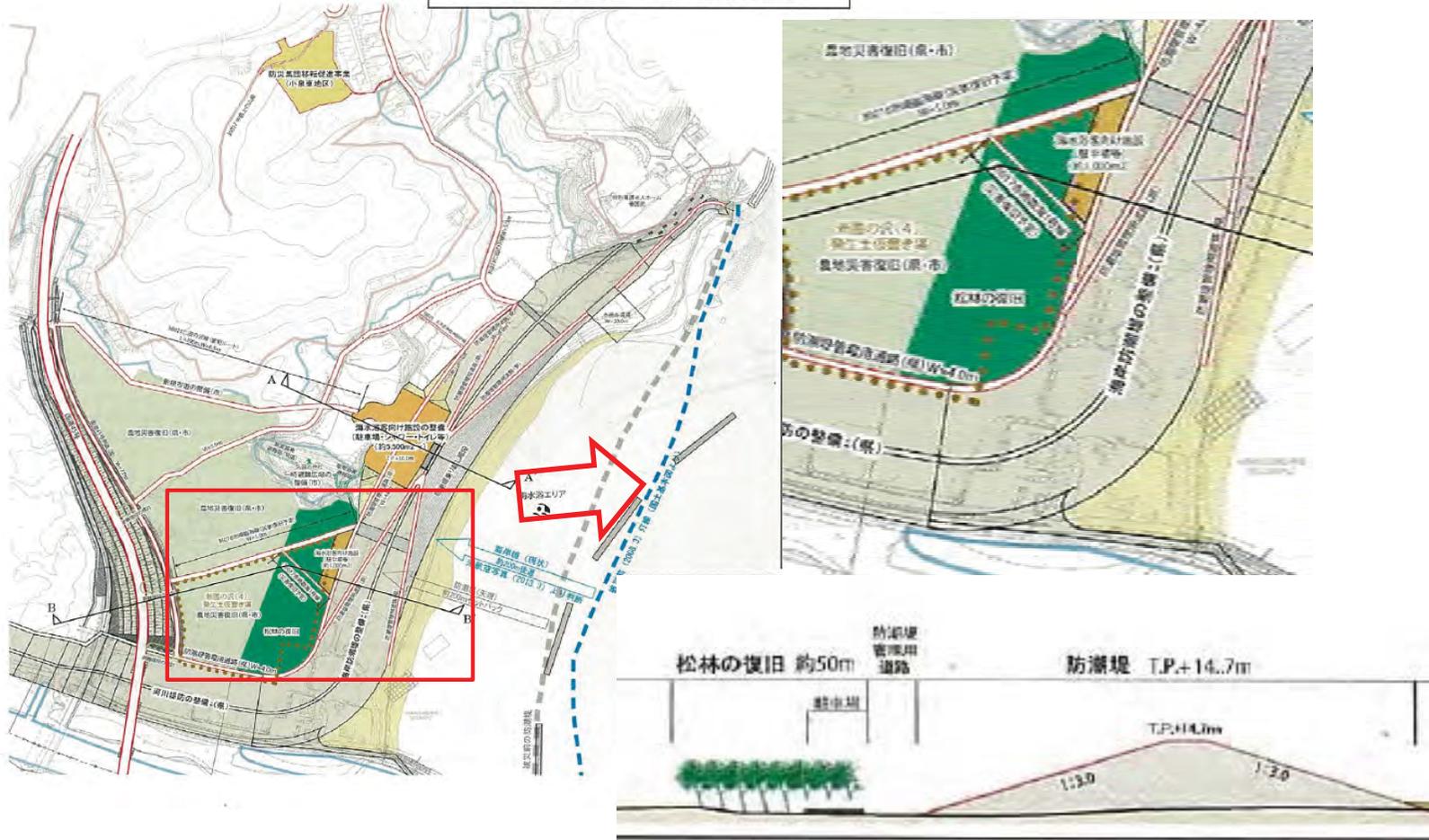
中島海岸背後地整備計画図(案)



- ◆ 昨年度の検討で高台に海水浴施設を設置する方向で位置については調整済み。
- ◆ 海水浴場施設の詳細なレイアウトについては、地元住民の意見を踏まえ、細部に反映したい。
- 市としては、被災前の機能を復旧するとともに、観光拠点の機能も併せ持つ施設としたい。
- 詳細な施設配置に関して、地元の意向を反映した内容としたい。

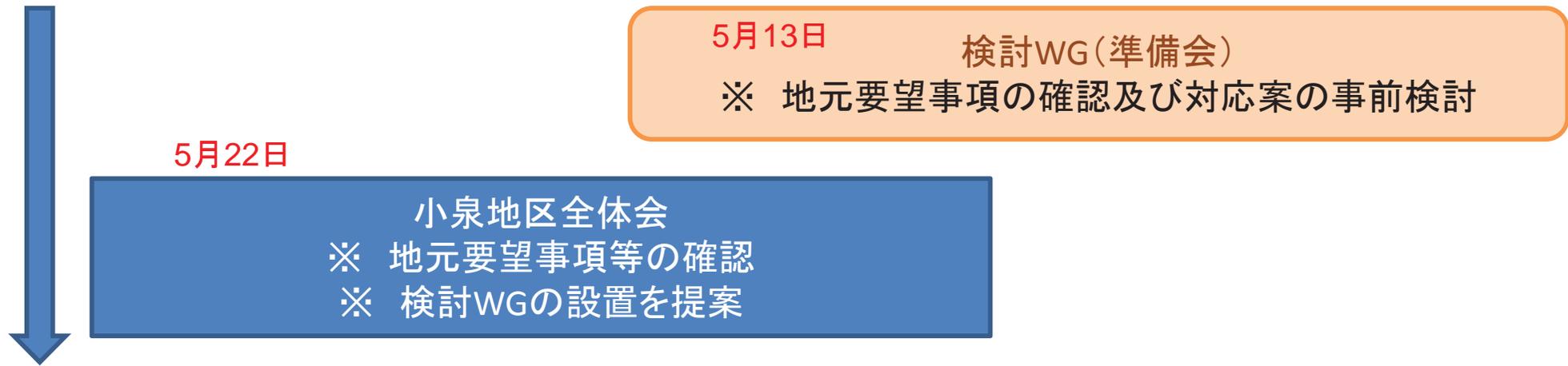
保安林整備について

中島海岸背後地整備計画図(案)



- ◆ 水田への塩害防止の観点から、従前のような防潮林の要望がある。
- 被災前の保安林機能の復旧、景観配慮のため保安林を整備。
- 整備範囲は、堤防背後の低地部とし、幅は50mを基本とする。

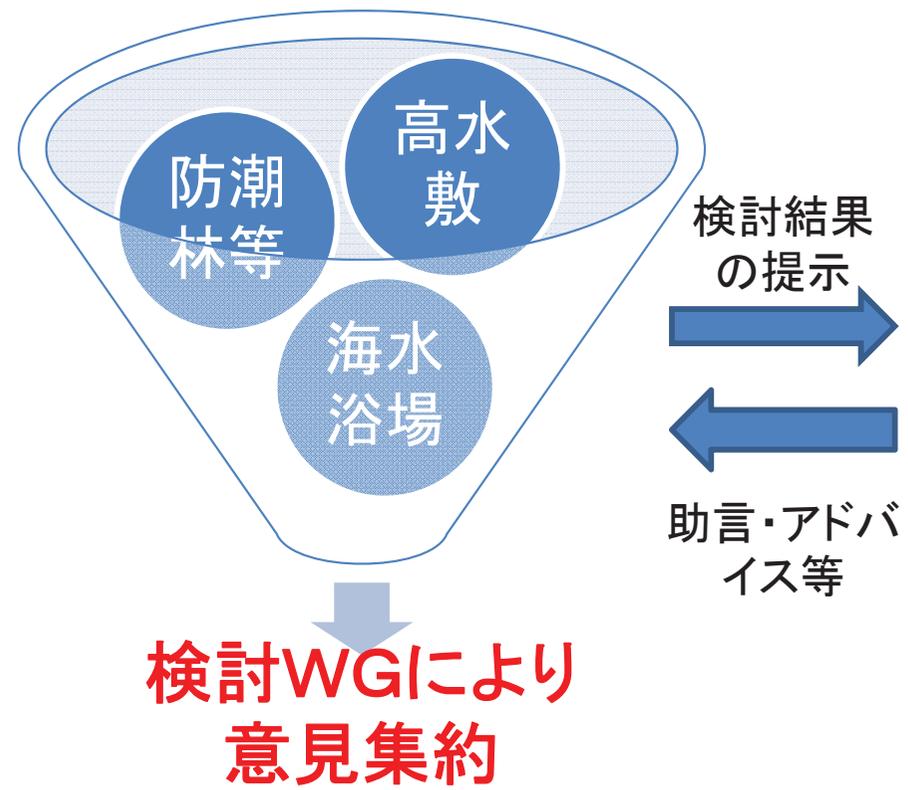
(3) 検討WGの設置について



検討ワーキンググループ(案)

- 小泉地区行政区振興会長及び副会長(14名)
- 津谷地域振興会長(1名)
- 農協、漁協、淡水漁組合、小泉川鮭増殖組合
- 水利組合、観光協会(各1名)
- 小泉海岸及び津谷川の災害復旧事業を学び合う会(1名)
- 小泉地区の明日を考える会(1名)
- オブザーバー 地元市議会議員(3名)
- 事務局: 県及び市

- 検討WGは、地元住民及び関係機関の代表者で構成し、地元意見の集約を行うこととします。
- 専門的な検討事項については、学識経験者による検討会を設置し、助言やアドバイスを頂くこととします。
- 学識経験者の助言等を踏まえ、検討WGで再検討等を行い、修正案の作成を行います。



検討会

高水敷	防潮林等	海水浴場
<ul style="list-style-type: none"> • 整備方法 • 配慮事項 	<ul style="list-style-type: none"> • 整備方法 • 施工上のアドバイス等 	<ul style="list-style-type: none"> • 景観配慮 • 助言等

※専門家の視点から、検討WGの意見に対する助言、アドバイス等をいただき、整備計画へ反映

- 検討会については、各分野の専門家で構成します。
- 現在のところ、下記の委員を予定しています。

役職名	所 属	氏 名	専 門	備 考
委員	東北大学災害科学国際研究所 所長	今村 文彦	津波	
委員	東北学院大学 教養学部 教授	平吹 喜彦	植物群落	
委員	東北大学災害科学国際研究所 准教授	平野 勝也	景観	
委員	東北大学大学院生命科学研究所 助教	鈴木 孝男	底生生物	
委員	仙台市科学館	高取 知男	魚類	
委員	小泉地域振興会長		住民代表	
委員	小泉地域振興会長		住民代表	
委員	小泉地域振興会長		住民代表	

(4) 今後のスケジュールについて(検討会)

5月13日

検討WG(準備会)

※ 地元要望事項の確認及び対応案の事前検討

5月22日

小泉地区全体会

※ 地元要望事項等の確認
※ 検討WGの設置を提案

5月29日を予定

検討WG

※ 地元要望事項の対応案の具体的検討

6月6日を予定

検討会

※ 検討WGの結果について、学識経験者による評価、アドバイス等

6月下旬を予定

小泉地区全体会

※ 検討WG及び検討会の検討結果を報告

検討会(モニタリング)

※事業進捗に合わせ、適宜有識者等によるモニタリングを検討

(4) 今後のスケジュールについて(用地)

中島海岸・津谷川の復旧工程

種別	H25年度	H26年度												H27年度												H28年度	H29年度	備考			
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
① 離岸堤・消波工						■ 準備工 契約																									
② 堤体工											■ 準備工 契約																				その1 左岸上流 その2 右岸上流 その3 海岸+左岸下流
③ 堤体工																															津谷川右岸下流 外尾川
④ 用地説明会																															

● 6月中旬より順次用地説明会・契約会を開催します